

認知症カフェ 17日開設

認知症の人やその家族、住民らが集まり会話をしている認知症カフェ「オレンジカフェ静岡」が17日、静岡市内にオープンする。同市内の認知症カフェ開設は初めて。運営するNPO法人ヒューマン・ケア支援機構の松田純理事長は「認知症への理解を広げる場として、また、予防のために活用してもらえれば」と采場を呼び掛けている。



17日のオープンに向け、準備を進めるメンバー
静岡市葵区の番町市民活動センター

相談や情報交換の場に 静岡市内初「予防にも活用して」

もの忘れで不安を感じている人、認知症と診断された人やその家族の相談、参加者同士の交流や情報交換ができる。相談には看護師やケアマネジャー、認知症の人の介護経験者らが当たる。来場無料で飲み物や菓子を100円で提供するほか、今後、健康に関わる講演も行う。

同法人とカフェ運営を手伝う20代中心のボランティアは4度の研修を行い、認知症に対する知識と接し方を学んだ。店長で臨床心理士の小島孝子さんは「若者との世代間交流は刺激になるはず」と期待する。

会場は社会福祉法人静和会が運営する在宅介護支援施設「城東コミュニティプラザハピスポ」(葵区)で、第3日曜日の午後2～4時に開く。17日は音楽療法士の指導による楽器体験や読み語りなども行う。

問い合わせは同法人へ電話090(7433)6342へ。